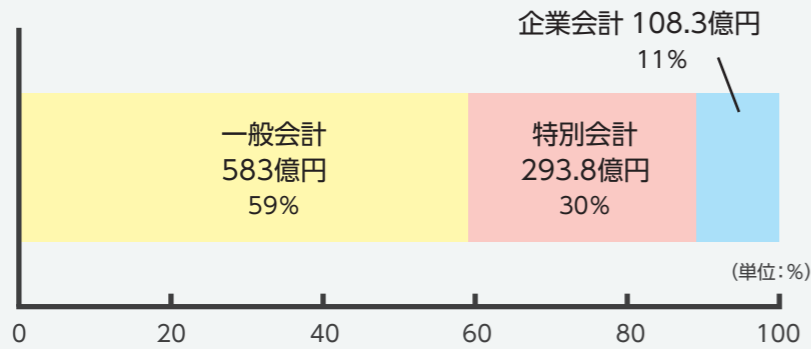


令和8年度の全ての予算：985.1億円



一般会計とは…

市の基本的な仕事(福祉、教育など)を行う予算です。主に市税で賄っています

特別会計とは…

国民健康保険など特定の事業を行うために、一般会計と分けて設けられている独立した予算です(全6会計)

企業会計とは…

自らの収益で運営している上下水道事業のことです

今年度の一般会計当初予算額は583億円。前年度と比較して20.4億円(3.4%)の減額となりました。

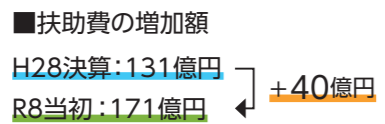
予算編成においては「第2次古河市総合計画」の第Ⅲ期基本計画で掲げる「華のある都市古河」の実現に向けて「古河市戦略方針2026」に基づく重点的施策である①教育・福祉の充実②都市基盤の充実③産業の育成に関する取り組みに重点を置いています。

事業の取捨選択を徹底し、時代の変化に対応するための予算となっています。



扶助費が増加傾向

扶助費は、高齢化の進展、障がい福祉サービス利用の増加、子育てをしている人たちへの支援拡充により年々増加し、10年前に比べ40億円の増加となります。

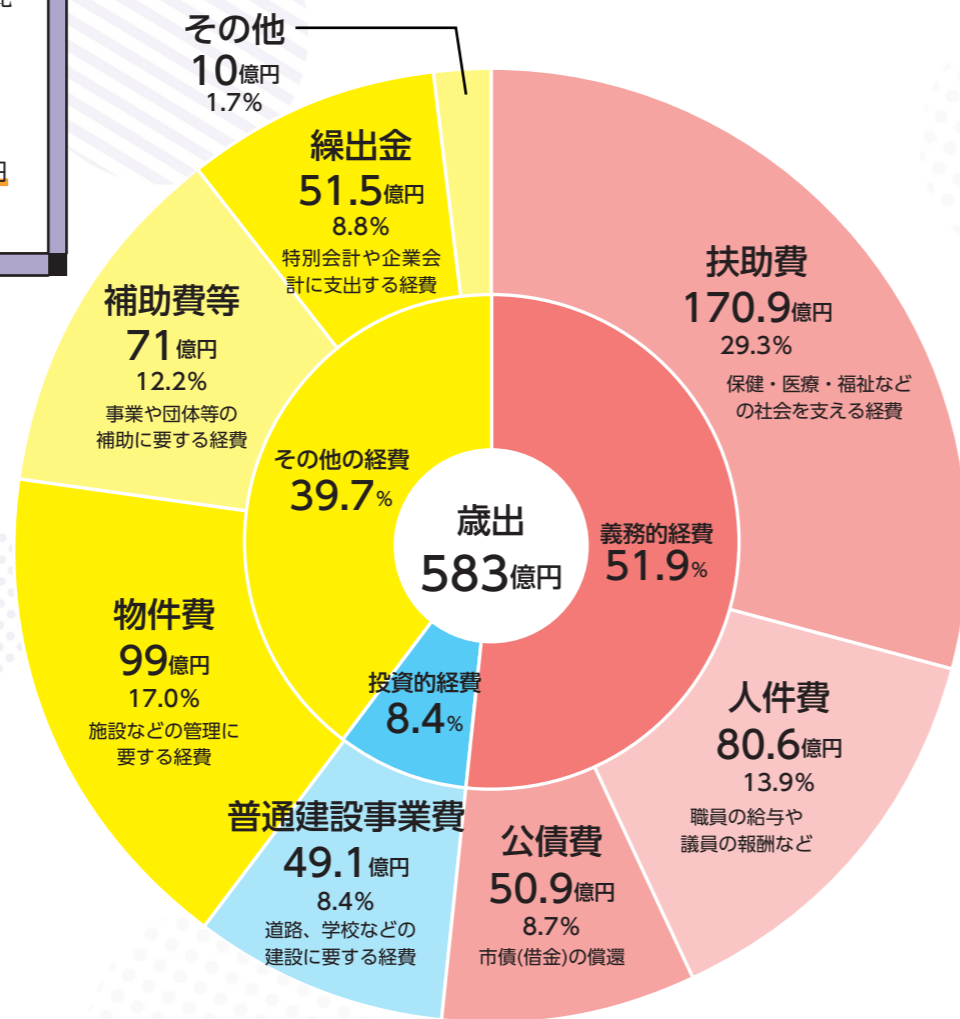


義務的経費と投資的経費とは？

扶助費や人件費など、支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費を義務的経費と言い、道路や学校などの建設に要する経費を投資的経費と言います。

古河市が支払うお金の内訳

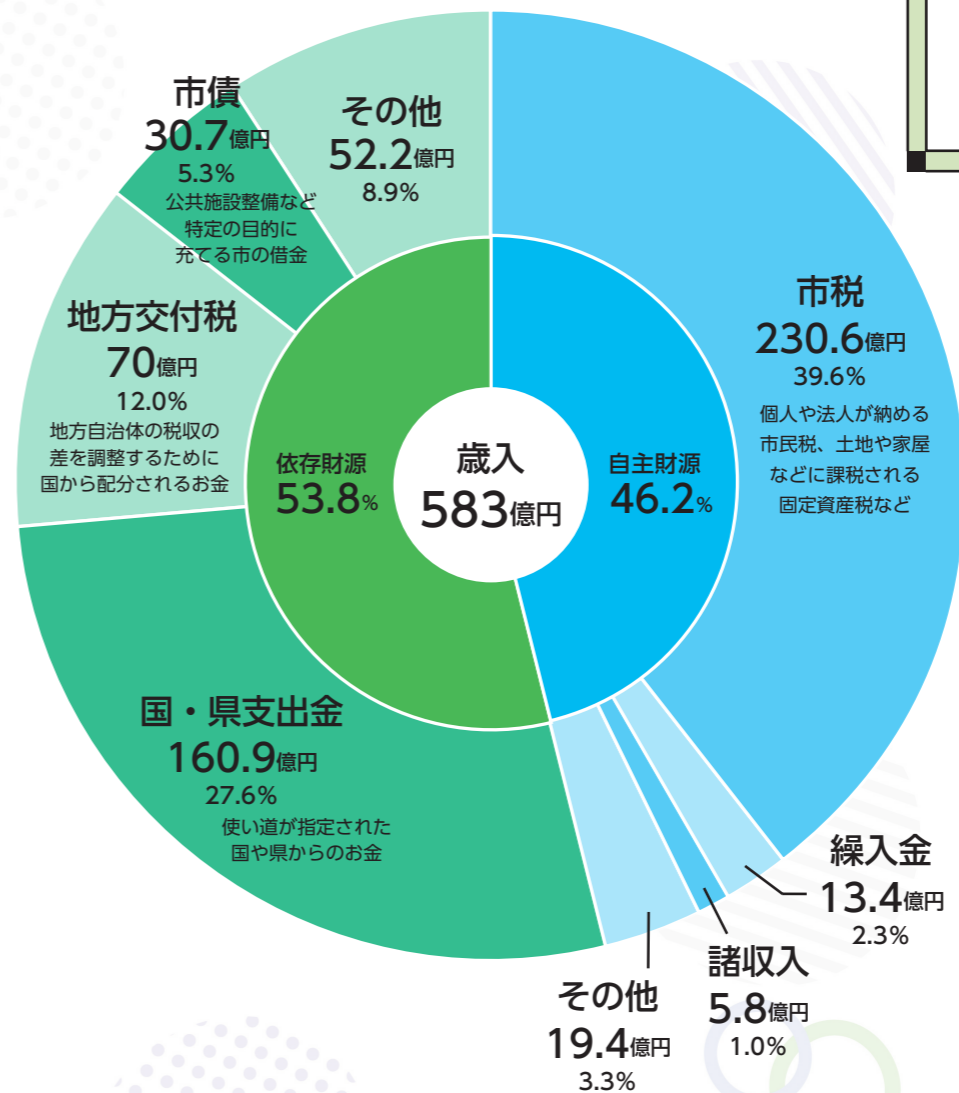
一般会計 歳出



※端数処理により数値が一致しない場合があります。

古河市に入るお金の内訳

一般会計 歳入



過去最大の税収額

市税は、新築家屋や大型店舗等の増加により固定資産税の増額が見込まれることなどから、昨年度に比べ7.9億円の増加となります。



自主財源と依存財源とは？

市が自ら徴収するお金である自主財源に対し、国や県から定められた目的のために交付されるお金を依存財源と言います。自主財源の割合が大きいほど、行政運営がしやすくなります。